

市長 こうした、社会経済情勢の変化への対応は、5月の最初の総合計画審議会をお願いした7つの視点の一つで、後期基本計画に織り込んでいくことが、大きなテーマですね。

審議会に期待する調査審議の視点

津市総合計画審議会の委員の皆様へ期待する後期基本計画の策定に向けての視点は、次の7つです。

- ① 基本構想を尊重した後期基本計画の策定
- ② 合併後10年でやるべきとしていたことの確認と検証
- ③ 地域課題への対応
- ④ 社会経済情勢の変化への対応
- ⑤ 合併特例債の5年延長を見据えた対応
- ⑥ 国・県事業との連携による積極的な事業推進
- ⑦ 対話と連携によるまちづくりの推進

前葉市長が津市総合計画審議会に期待する視点として示した7点

武田 また、防災計画は、是非地域住民の皆さんと一緒に作ってほしい、そして、できるだけ早く作ってほしいといった意見が出ています。

市長 今、お話しいただいた防災対策は待ったなしということで、今年度と来年度の2年間を防災対応力強化集中期間と定め、さまざまな取り組みを進めています。企業誘致は企業からも津に熱い視線をいただいております、最近非常に好調ですが、やはり足腰の強いしなやかな経済をしっかりと作っていくということも大きな課題です。経済について、委員の皆さんからも意見が出ていますか。

武田 はい。日本の人口が、1年間でおよそ津市の人口分ぐらい減少したと新聞報道もあ



人口減少社会の中で、何を考えていくかということも大切だと語る前葉市長

りましたが、若い人が津市に住み続けるような就労環境を作ることが重要だといった意見もあります。

市長 さらに、地域の課題にどう対応していくか。合併した10の旧市町村単位にある地域審議会から総合計画審議会に委員として入っていただいておりますが、皆さんからはどのような意見が出ていますか。

武田 災害に強いまちづくりといっても、私は海岸に近い三重大学に勤めていますので、津波のことばかりが気になりますが、山間部にお住まいの人からは、去年の12号台風の被害もありますし、その地域の状況に対応した災害対策づくりをとった意見があります。やはり、これは総合的に考えていかなければならないことだと思います。

市民の皆さんの意見を聞く

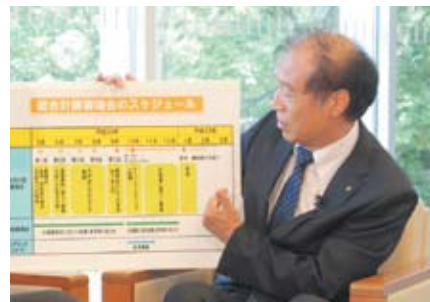
武田 前葉市長は、第三セクターなどの課題についても、広報誌などに、きちんと経緯を載せ、オープンな形で対処されていますね。

市長 いずれ解決していかなければならない課題ですから、広く市民の皆さんに情報を公開した上で進めなければならないと思っています。

武田 非常に良い取り組みだと思いますので、是非続けてください。

市長 ありがとうございます。総合計画審議会でも、市民の皆さんからの意見を聞いてみようという取り組みが行われるそうですね。

武田 はい。10月16日火曜日の18時から20時まで、津センターパレス地下1階の市民オー



津市総合計画審議会のスケジュールを示す武田会長

ブンステージで、オープンディスカッションを開催することにしました。たくさんの方に参加いただき、活発な意見交換を期待しています。

市長 審議会での議論にとどまらず、広く市民の皆さんの意見を聞くというのは、とても重要な取り組みだと私も期待しています。

今後さらに総合計画審議会での議論が深まり、本当に熱意のある心を込めたまちづくりの姿を描いていただき、我々もそれをどうやって実現していくかということを考えていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

武田 こちらこそよろしく願います。



津市総合計画審議会の様子

市長 本日は、津市総合計画審議会の武田保雄会長にお話を伺ってまいりました。市民の皆さんからも広く意見お寄せいただき、皆さんのまちづくりに対する思いを結集した総合計画にしていきたいと考えています。武田会長、今日はどうもありがとうございました。

武田 ありがとうございました。